

サンワサプライと SG システム、AI 荷下ろしロボットを西日本物流センターに導入

～東日本での実運用を踏まえた展開、倉庫運用の高度化・省人化を推進～

サンワサプライ株式会社（本社：岡山市北区田町 1-10-1、代表取締役社長 山田和範）と、佐川急便を中核とする SG ホールディングスグループで IT 統括事業を担う SG システム株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：丸山信二）は、2026 年 5 月、サンワサプライ西日本物流センターにおいて、AI 搭載のコンテナ向け荷降ろしロボット「RockyOne」の運用を開始したことをお知らせします。

本件は、2025 年のサンワサプライ東日本物流センターでの実稼働^{*1}に続く導入です。同センターでの運用を通じて得られた知見を基に、ロボット本体の性能および運用面の両面で改善を図り、より実用性の高い倉庫運用の自動化を実現しています。



■背景

近年、夏場の酷暑が常態化する中、熱中症は社会全体で対策が求められる深刻な課題となっています。物流現場におけるコンテナからの荷降ろし作業では、夏場にはコンテナ内の温度が 50～60℃に達することもあり、作業者は極めて危険な環境下での作業を強いられてきました。重量物の取り扱いによる身体的負担や、高所作業に伴う落下・転倒のリスクもあり、労働力不足が進む中、労働環境の改善が喫緊の課題となっています。

こうした背景のもと、2025 年にサンワサプライ東日本物流センターで導入した AI 搭載の荷降ろしロボット「RockyOne」は、安定した自動荷降ろしを実現しました。これにより、コンテナ内での作業者をゼロにするとともに、従来の約半分の人員での荷降ろし作業を可能にしています。サンワサプライは、SG システムと連携しながら導入後も現場での改善を重ね、さらなる省人化と生産性向上を推進してきました。その取り組みの成果として、西日本物流センターへの展開にも至っています。

■西日本物流センター導入における主な改良点

1. ロボット性能の向上と高精度化

東日本物流センターへの導入機と比較し、最大処理能力は約 15%向上するなど、作業効率を改善しています。また、カメラ位置の最適化により荷物の認識精度を高めるとともに、アームの速度制御を高度化することで、衝突防止や安全性の向上を実現しました。これにより、混載便など多様な積載条件においても、安定して高精度な荷降ろし作業が可能となっています。

2. 現場定着を実現する導入設計と連携の強化

「現場で継続的に活用できる仕組み」の構築を重視し、関係各所と連携しながら導入を進めました。設置レイアウトの最適化による作業効率の向上に加え、現場と連携した継続的な検証・改善を実施するとともに、操作性・視認性を考慮した設計を取り入れています。これにより、単なる設備導入にとどまらず、現場に定着する運用モデルを確立しています。

3. トラブル対応力の強化

東日本物流センターで蓄積した運用ノウハウを基に、操作マニュアルの整備や作業員への教育を実施し、リモートサポート体制を構築しました。これにより、トラブル発生時の迅速な初動対応が可能となり、現場の負担軽減と早期復旧を実現しています。

■<参考>「RockyOne」概要

対応範囲	1辺の長さ：150～800mm 重量 (Max.)：30kg
対応コンテナ	20ft/40ft/45ft (標準/HC)
ロボット本体 ※伸縮コンベアを除く	サイズ：1,400mmx1,060mm 重量：1,200kg
移動能力 (Max.)	速度：0.9m/s 傾斜：10° 段差：20mm
処理能力 (Max.)	300～800PPH (Pieces per Hour) 400CPH (Cycles per Hour)

■両社コメント

サンワサプライ株式会社 代表取締役社長 山田和範

サンワサプライでは、物流現場における作業負担の軽減と生産性向上を重要な課題として取り組んでまいりました。今回、西日本物流センターにAI荷降ろしロボット「RockyOne」を導入したことで、特に夏場の過酷なコンテナ内作業における人的負担の軽減を実感しています。加えて、周辺機器など比較的小型の製品についても荷降ろし効率が向上し、現場全体の作業生産性向上につながっています。東日本物流センターでの運用経験を踏まえ、西日本物流センターにおいても現場に適した形でスムーズに導入・展開できたことを大変心強く感じています。今後も、物流現場のさらなる作業効率向上を推進するとともに、作業員の身体的負担軽減や安全性向上にも取り組み、安心・安全で持続可能な物流体制の構築を進めてまいります。

SGシステム株式会社 代表取締役社長 丸山信二

SGシステムは、長年、佐川急便をはじめとするグループの物流をITで支えてきたノウハウを基に、グループ外のお客さまにも物流ITソリューションを提供しています。本件は、サンワサプライ様との対話を通じて生まれた取り組みです。今後もお客さまに寄り添い、物流現場に適した付加価値の高いソリューションを提案・提供することで、お客さまの物流課題の解決に貢献してまいります。

サンワサプライおよびSGシステムは、今後も実運用で得られる知見を生かしながら、物流現場におけるさらなる労働環境の改善と生産性向上に取り組んでまいります。

6/23/2026 9:10 AM

※1 SG システム、XYZ Robotics、サンワサプライ（上海）、コンテナ向け荷降ろしロボットを共同導入
<https://www.sg-systems.co.jp/news/20250729/>

<会社概要>

■サンワサプライ株式会社

本社：岡山県岡山市北区田町 1-10-1

代表者：代表取締役社長 山田和範

事業内容：各種コンピュータサプライ製品の企画・製造・販売、パソコン・周辺機器の取り扱い

URL：<https://www.sanwa.co.jp>

■SG システム株式会社

本社：京都府京都市南区上鳥羽角田町 25

代表者：代表取締役社長 丸山信二

事業内容：情報システムに関する企画・設計・開発・保守・運用業務など

URL：<https://www.sg-systems.co.jp>

<本リリースに関するお問い合わせ先>

■サンワサプライ株式会社

広報窓口

TEL：086-223-3311

URL：https://www.sanwa.co.jp/support/support_regi/index.html

■SG システム株式会社

経営企画部 経営企画課 広報担当

TEL：075-661-3435

E-mail：pr@sg-systems.co.jp

※このリリースに記載の内容は、発表当時の情報です。仕様・価格・外見など、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。